

ただいま 36 期生、261 名に卒業証書を授与いたしました。36 期生の皆さん  
卒業おめでとうございます。

さて、木々の芽吹きが始まり、新春到来の気配を感じさせる、この佳き日に、大阪府立大冠高等学校第 36 回卒業証書授与式を挙げていただきました。ご多用中にもかかわらず、本校学校運営協議会委員 高槻市立第 10 中学校校長 宮崎 義之様を始め、36 期生の出身中学校の校長先生方、本校 PTA 実行委員の皆様等、多くのご来賓の方々にご臨席賜りましたこと、高い所からではございますが、厚く御礼申し上げます。

また、多くの方々からお祝いのお言葉を頂戴し、卒業生はもとより、本校教職員にとりまして、何にもまして慶びとするところでございます。

保護者の皆様におかれましては、本校での教育活動を終え、晴れやかに巣立ちゆくお子様の英姿をご覧になり、感慨ひとしおのものがおありかと存じます。本日、卒業の日を迎えられましたのは、お子様自身の努力の賜物であるとともに、今日まで温かく育てこられた皆様の愛情の賜物でもあるということはいまでもありません。高いところからではございますが、心よりお祝い申し上げます。おめでとうございます。

36 期生の皆さん、改めて卒業おめでとう。

世の中を震撼させた新型コロナウイルスが蔓延した年に、本校を受験。行動制限がある中、どんな高校生活になるのだろうかって不安を感じながら入学した人、感染拡大防止のため、憧れていた高校生活、こんなこともできないの？って、不満に感じた人もいたでしょう。次第に、日常生活へ回帰。これまで同様、伝統ある行事を復活させるぞって思いを強めた令和 5 年春、私自身、皆さんと出会うことになりました。赴任早々、「おはようございます」って元気の挨拶を交わしてくれるクラブ員、早朝に地域の清掃に繰り出したり、校内施設の清掃活動をしてきている部員を見て、この心遣いと行動力は、色々な苦難も着実に乗り越えられる強みを持っている生徒達だなあって感じました。みなさんとは、この 1 年間のおつきあいでした。授業見学では、パフォーマンスを楽しむ姿、新たな商品開発、人にやさしい提案を繰り出し、着実に社会の一員として自ら成長しようとする姿を、また、与えられた課題を如何に解くか思案している姿、等々、奮闘する中で、授業を楽しんでいる姿を見せてもらいました。体育祭、文化祭などの行事では、団をまとめ、また、クラス一丸となって、より良い作品を創り上げようと奮闘している場面も見せてもらい、しっかりと大冠の伝統に、その 1 ページを刻み込むことができましたね。

さて、皆さんの門出にあたり、私からのエールとして、池井戸 潤さんの作品から、その一節を紹介したいと思います。ドラマでも一世を風靡したものですが、『半沢 直樹』より。

この一節は、幾多の困難に直面し、事業達成を諦めざるを得ない状況下で、くずぶる部下に対して主人公が発する言葉です。私自身、印象深く、また心打たれた一節です。

『今の世の中を夢み、文句を言ったり腐してみたりする。

でもそんなことは誰にだってできる。・・・いつの世にも、文句ばかり言ってる奴は大勢いるんだ。

だけど、果たしてそれに何の意味がある。・・・どうすれば、そういう世代が二度と出てこないようになるのか、その答えを探すべきなんじゃないか』

高校生活 3 年間には、自分の思い通りに事が進まず、ついつい文句を言い、時には友人や先生方とぶつかり、ついつい拗ねってしまった人もいましたね。昨日までは、担任の先生や部顧問の先生方、スクールカウンセラー等、本校教職員が、みなさんの話を聞き、各自の思いを調整したり、また、自分で考え直す機会を設ける

等、色々な問題を解決することができました。

これからは、卒業生一人ひとりが、一社会人として、相手と十分に話をし、時には調整し、よりよい生活ができるように努めることが求められます。そのためには、昨日の自分よりも成長した今日の自分のために、文句や言い訳でごまかすのではなく、今できることを探り、日々行動してください。

また、自身の言動・行動に、一社会人として責任が求められますので、これまで以上に周りを思いやる気持ちと、自身への施しに対する感謝の気持ちを忘れないようにして下さい。だからといって、引っ込み思案になる必要はありません。これまで同様に、周りにいる友達、同僚、先輩に自ら相談し、よりよい生活が、そして、よりよい社会が作り上げられるよう、各自が着実な活動を遂行してもらいたいと思います。

明日からは、一人ひとり異なる進路を歩むことになり、本校に立ち寄る機会は少なくなりますが、昨日、同窓会への入会を済ませた皆さんには、大冠高校の先輩として引続き、本校への応援をお願いします。後輩たちの部活動指導や、進路説明会の講師として、時には、近況報告、悩み相談等、本校に立ち寄って下さい。教職員一同、皆さんが、それぞれの進路先・就職先でご活躍されることを期待し、応援しています。また、皆さんから頂く近況や活躍ぶりについては、先輩の体験談として、後輩や本校教職員に披露し、引き続き、本校が発展するための潤滑油として紹介させていただきますので、よろしくをお願いします。

さあ、旅立ちの時がきました。卒業生の皆さん、まずは、4月から新たな環境で、しっかりとスタートできるように準備してください。奮闘・ご活躍されることを期待しています。

最後になりましたが、本日まで様々なご支援・ご協力をいただきました地域の皆様、同窓会の皆様、保護者の皆様を始め、ご関係の皆様にご心よりお礼を申し上げ、第36回卒業証書授与式の式辞といたします。

令和六年二月二十八日 大阪府立大冠高等学校長 重松 良之